

平成28年度

事務事業評価表 A (平成27年度の実績評価)

記入年月日  
平成 28 年 3 月 27 日

Table with columns for 事務事業名, 事業区分, 担当, 政策体系, 財務会計上の位置付け, 予算科目, 法令根拠.

(Do) 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像), ②担当が行う業務の内容・やり方・手順.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with columns for ①手段, ②対象, ③意図, and various performance indicators (活動指標, 対象指標, 成果指標) over 26-30 fiscal years.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing input amounts (事業費) and personnel costs (人件費) for 26-30 fiscal years, including a breakdown by source (国庫支出金, etc.).

Table showing the breakdown of business expenses (事業費の内訳) for 27 and 28 fiscal years, including 19 負担金補助及び交付金.

(4) 当該年度の実施内容

Table for implementation content (実施内容) for 28, 29, and 30 fiscal years, including a list of main activities and a note about reporting.

事務事業名	羽黒・稲田石材スラッジ処理協同組合助成事業	事務事業No.	50203000545	所属課	商工観光課
-------	-----------------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その2）

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	
羽黒・稲田石材スラッジ処理協同組合は地域産業全体で公害発生の防止と生活環境の保全に努めるため、昭和59年設立された。安価な外国産石材の流入により国内加工が激減し、施設利用者が減少したため、運営が厳しくなった。平成19年度から運営が困難なため、笠間市と桜川市で補助金を支出することになった。	
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？	
処分料等の自主財源によって運営費を賄えるようにするべきではないかという意見がある。	
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	
	組合員の増加及び処理件数の増加により、組合の収入を安定させることが必要である。

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
目的 妥当性	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？）
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 石材加工から発生したスラッジ処理を行う組合を補助することは、石材業者が独自でスラッジ処理する負担を軽減し、地場産業の振興及び経営の安定化につながるため、政策に結び付いている。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称）
<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 市の基幹産業である石材業界の支援と環境対策として、当該組合に運営費補助金を支出することは妥当である。	
有効性	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？）
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 組合員ではない石材加工業者も使用料を支えれば処理施設を利用できるため、適正である。
	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？）
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 安定してスラッジ処理ができなくなることから、石材業の停滞、適正な処分が行われなくなることによる環境悪化が懸念される。
効率性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）⇒ 具体的な手段、事務事業名
	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない
	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？）
<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 27年度予算において一度削減を検討したものの、組合側より削減されると事業に支障をきたす旨の申し出があったため従前の額で予算措置した経緯がある。	
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？）
<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 組合を通じての助成であるため、特定の業者に受益者が偏っていない。	

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点）																						
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	石材業者にとって、加工の際に出るスラッジの処理費用は商品の利益を圧迫する要因になっており、共同処理による効率化・簡易化は石材業者の利益の確保と経営の安定に必要。組合の加入者や処理件数の増により、組合の運営を安定させることが課題である。																						
②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 （終了・廃止・休止の場合は記入不要）																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input type="checkbox"/> 現状維持		（複数回答可） <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策 組合の意義を知ってもらい、より多くの事業者に参加してもらわなければならないが、なかなか加入者が増えていない。最終処分場の確保に苦慮していたが、現在はめどが立っている。		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持			×																				
	低下			×																				
(6) 事務事業優先度評価結果																								
成果優先度評価結果																								
コスト削減優先度評価結果																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価	確認欄
<input type="checkbox"/> A：継続（現状維持） <input type="checkbox"/> B：継続（改革改善を行う） <input type="checkbox"/> C：終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> D：2次評価へ提出	<input type="checkbox"/>